

第 43 回庭野平和賞 贈呈理由

ベンキ・ピヤコ師

第 43 回庭野平和賞は、ブラジル・アマゾンの熱帯雨林に暮らす先住民アシャニカ族の人々の土地と文化の擁護に向けた多大なる功績を顕彰し、ベンキ・ピヤコ師に贈呈される。

同地域の人々は侵入者から受けた被害および森林破壊により、計り知れぬ苦難を受けてきた。ピヤコ師は過去 15 年にわたり、アマゾンの熱帯雨林と先住民を守るため、環境保護および森林の再生に向けた諸事業を主導した。その揺るぎない努力は、今後も気候変動との闘いの場で長く引き継がれていくであろう。環境の守り手として、人間と自然との結びつきを育むピヤコ師の取り組みは、近隣の地域にとどまらず、世界中のあらゆる地域の人々にその影響を与えている。なぜなら我々人類が持続可能で調和のとれた生活を送るためには、健全なアマゾンの熱帯雨林の存在が不可欠だからである。

ベンキ・ピヤコ師は、アマゾン川支流のアモニア川流域に暮らす先住民アシャニカ族の精神的指導者であり、環境活動家、人権擁護者、社会起業家として広くその名を知られている。同師は「先住民アヤワスカ会議」の創設者である。同会議は、先住民が主体となり、医療植物として用いられてきたアヤワスカの神聖な伝統と先住民の権利を守るための国際的な対話の場であり、同時にアヤワスカの商業化・西洋化に対抗するため、先住民の声を世界に発信する場でもある。さらに同師は「ヨレンカ・タソレンツィ研究所（アクレ州マレシャル・タウマトウルゴ）」の創設者でもある。こうした取り組みを通し、同師は地域社会および国際社会に向け、荒廃した土地の再生、持続可能なアグロフォレストリーならびに農業体系の構築、環境保護と先住民文化の強化に向け啓発活動を推進してきた。

ピヤコ師は祖先から受け継がれた伝統の守り手として、森林、伝統医療、アシャニカ族の精神性に関する知見の共有に尽力している。また、国内外の諸フォーラムにおいて影響力のある発言者として活躍する一方、ブラジル国内および諸外国において、環境保護と先住民コミュニティの強化を目的とする取り組みを調整・牽引してきた。その叡智、対話力、そして地球の環境的・文化的遺産を守り抜く揺るぎない姿勢は広く知られ、高い評価を得ている。

ピヤコ師は 2007 年、精神的指導者として 80 名の若者を集め森林保全に向けた教育を行うことにより、ヨレンカ・アタメ・センター（「森の知の拠点」の意）を設立した。その後、協力の輪は広がり、現在では数千人に上る人々が土地の再生と管理に携わっている。同研究所は伝統知と現代的手法を融合させ、多数の若い指導者と地域社会を動員することにより、過去 10 年にわたり 200 万本を超える植林を達成するとともに、カメ、サル、野生のブタ、バク、野生のミツバチなどの保護を通し、生物多様性の保全に顕著な成果を上げてきた。このようにピヤコ師が例証したビジョンは、平和で持続可能な未来を確かなものにするために、極めて重要な役割を果たしている。

ピヤコ師の活動は人々を大地に、そして大地を人々に結びつけるものである。そうした歩みを支えているのは、自身が霊的な世界と繋がり、そこから物事の善悪や是非を示すサインを受け、導かれているとする同師の信念である。同師の近年の取り組みには、伝統的な科学と森の霊性・癒しの知識を融合させた医療センターの創設がある。同師が先住民のための取り組みを行う上で優先課題とする事項には、文化的、心身および社会的幸福、エコロジー、伝統知の継承と人材育成などが含まれる。

ピヤコ師は 2004 年、ブラジル政府から人権活動に対する表彰を受け、2013 年にはドイツ・ワイマールで「人権賞」を受賞、2020 年には文化多様性財団とジャック・シラク財団の共同による「平和のための文化賞」を受賞した。さらに 2017 年には同師およびアシャニンカ・コミュニティが、共同プログラムによる環境保全への功績に対し、国連開発計画（UNDP）から「赤道賞」を受賞した。

結論として、ベンキ・ピヤコ師は自然環境や物質界が深刻な危機にある現代にあって、持続可能な開発およびエコロジー運動への取り組みを始めた先駆者である。同師は先住民の精神文化を活動の指針とし、地球に敬意を払いながら、特に若い世代と協力して生物多様性の保全に向けた取り組みを進めることにより、自然との意識的な関係を築くことに注力してきた。さらに同師は、ヨレンカ・タソレンツィ研究所の創設者として、森林再生事業を推進する一方、教育とコミュニティ形成にも尽力している。以上のように、ピヤコ師による伝統の智慧、文化、霊性に根差した環境保護の取り組みは、平和の実現に計り知れぬ貢献をなすものであり、庭野平和賞の持つ使命にかなうものである。

以上の理由により、庭野平和賞委員会は、ベンキ・ピヤコ師を第 43 回庭野平和賞の受賞者として選定した。

庭野平和賞委員会 委員長
ソムブーン・チュンプランプリー